

事業所名

湘南国際アフタースクール金沢文庫

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

15日

法人（事業所）理念	公文書を療育プログラムの一環として導入。将来に向けて自立した社会生活を送ることが出来る基本的なスキル＝『生きる力』『自分で出来る力』を身につけていけることを実践していく							
支援方針	個別支援計画に基づいた個別の療育プログラムを用意し、通所時に大人にとっては小さなことでも子どもたちにとっては今まで出来なかったことが出来るようになる、とつても大きな出来事なので、たくさん『褒める』『認める』ことを行い自信をつけながら自己肯定感を育み、毎回1つでも自分で出来る力をつけていってもらえる支援を行っています。							
営業時間	11時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康状態や精神状態の把握に努める。基本的な生活スキルを身につけていくため自分の身の回りのことや、子どもたち同士、子どもたちと大人との関わり合いの中での場面、気持ちの切り替え出来るようにしていく。						
	運動・感覚	着席時に出来るだけ正しい姿勢を保持していける時間を伸ばして体幹の形成を図っていく。 様々な教材を用いて目と手指の協応と指先の巧緻性を高めていく。						
	認知・行動	簡単で単純な処理を素早く行っていくことで数の感覚、記憶力、ワーキングメモリを高め、生活全般での時間等の意識を高めていく。 ミスを受け入れられる力、修正力を養います。 音読などの視覚支援を通して指示を受け入れ自分で作業が出来るように促していく。						
	言語 コミュニケーション	生活の中で必要になる状況対応能力の獲得。部屋の出入り・教材の提出時に必要な挨拶や態度を言語や非言語のコミュニケーションを使い、相手のことを理解することや自分の考えを伝えられるように支援していきます。教材の音読を行うことにより語彙力・読解力・傾聴力を高めていく。						
	人間関係 社会性	社会生活上でとても大切な挨拶等を通して礼儀作法を身につけていく援助を行う。 教室の中でのルールや手順の理解、友だちと一緒に作業を行うことで社会性と人間関係を養っていきます。						
家族支援	家庭での困りごとに対する助言やサポート。必要に応じての延長支援の実施。学校の宿題のサポート。			移行支援	学校、関係機関との連携			
地域支援・地域連携	保護者から事前の承諾後に、学校・他の事業所との連携を行う。又、情報共有や個別支援計画の作成・合理的配慮の活用等の環境調整を行います。			職員の質の向上	一人ひとりの児童に対する担当者会議の実施 月に1回のケース会議 年に数回の公文本部などによる外部研修			
主な行事等	年に何度かのイベント実施や社会見学の一環としての施設見学							